

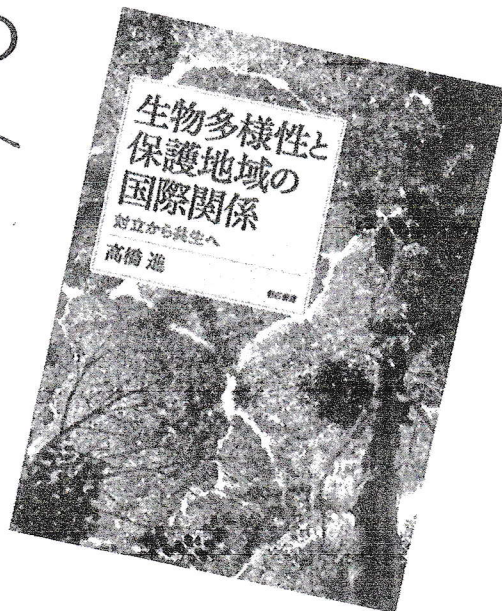
# 生物多様性と保護地域の国際関係 対立から共生へ

高橋 進

共栄大学教育学部教授

## 【著者紹介】

1949年東京生まれ。1972年東京大学農学部林学科卒業、環境庁入庁。環境省自然環境調査室長、国立環境研究所環境情報センター長などのほか、JICA インドネシア生物多様性プロジェクト初代リーダー、米国東西センター客員研究員などを歴任。2002年より共栄大学国際経営学部教授、2011年より現職。専門は、国際環境政策論（生物多様性・保護地域）、環境教育論など。



なぜ世界各国は一体となって生物多様性の保全と保護地域の拡大を推進できないのか。この疑問に対して、生物多様性と私たちの暮らしをわかりやすく解説しつつ、大航海時代から遺伝子組換えの現代までの生物資源やその原産地の保護地域をめぐる先進国・グローバル企業と途上国の相克を解明していく。

明石書店 刊

A5版/上製/244頁

定価(本体 2,800円+税)

## 内容構成

はじめに

第I部 生物多様性をめぐる国際関係

第1章 生物資源の利用と交流

大航海時代と植民地—生物多様性をめぐる覇権争い/日本にも来たプラントハンター/先住民の知恵と現代のプラントハンター/バイオテクノロジーとグローバル企業/INBioメルケ社契約とパラタクソミスト

第2章 生物多様性の喪失と保全

生物資源利用と生物種の絶滅/私たちの日常生活と熱帯林の破壊/そのエビはどこから?/生物多様性の価値/生物多様性の保全はなぜ必要か/生物多様性の倫理学/生物多様性保全の二つのアプローチ/保護から保全へ、さらに再生へ

第3章 生物多様性概念の醸成と政策の変遷

自然親の衰退/国際環境政策の潮流/生物多様性の国際会議/条約の変遷/生物多様性概念の醸成/国際生物多様性政策の転換点

第4章 生物多様性条約と南北問題

生物多様性条約/条約交渉と南北問題/遺伝子組換え生物とカルタヘナ議定書/名古屋 COP10 への道のり/“MOP5”って何?/COP10の成果—名古屋議定書と愛知目標

第II部 国立公園・自然保護地域をめぐる国際関係

第5章 保護地域の誕生と世界的拡張

愛知目標の保護地域面積目標/保護地域拡大でなぜ

対立するのか/保護地域の誕生/保護地域と自然の聖地/「米国型国立公園」の誕生秘話/国立公園の世界的拡張と強制退去/保護地域と地域社会の軋線

第6章 保護地域ガバナンスのパラダイムシフト

統治管理から地域社会重視のガバナンスへ/開発援助による保護と開発の統合/エコツーリズムの誕生/エコツーリズムと地域復興/地域住民による資源利用の容認/地域社会との協働管理

第7章 国立公園の世界会議

世界国立公園会議/国際的な保護地域制度/世界遺産/富士山と世界遺産/保護地域カテゴリーの見直し/保護地域と地域住民・社会との関わり/“ものけぼ”と“アバター”

第8章 日本の国立公園

意外と遅い日本の国立公園の誕生/日本の国立公園は自然保護地域ではない?—自然保護と景観保護/自然環境保全地域の成立/日本型と米国型の国立公園システム比較—大道芸型とディズニランド型/富士山入山料と米国の国立公園閉鎖—国立公園の利用者負担と利用者規制/日本型は日本の専売特許か

第III部 インドネシアの生物多様性保全と国際開発援助

第9章 生物多様性の国際開発援助プロジェクト

国際開発援助と生物多様性/生物多様性と南北問題/国際開発援助からみたエコツーリズム/生物多様性保全のための国際開発援助/インドネシアの生物資源とその保全/ボゴール植物園物語/インドネ

シアにおける生物多様性援助/生物多様性プロジェクトの枠組み

第10章 インドネシアの国立公園管理と地域社会

日本の国立公園を輸出する/インドネシアの国立公園と国際開発援助/インドネシアのエコツーリズムと国立公園/協働型管理への模索—グヌン・ハリムン・サラック国立公園/ゾウの象園の背後にあるもの—ワイ・カンパス国立公園/インスタントコーヒーと最高級のルワックコーヒー—南ブキット・パリサン国立公園/国立公園管理と地域社会の関係の類型化/国立公園ガバナンスの課題

第11章 持続可能な運営と連携・協働

熱帯林での調査研究/熱帯生態学の研究者とリサーチ・ステーション/国立公園管理と研究者・地域住民との協働/プロジェクトにおける連携と持続可能な運営/生物多様性保全国際開発援助の新たな枠組み

第IV部 対立を超えて—生物多様性・保護地域—その新たな役割と期待

第12章 生物多様性保全への政策アプローチの検討

広がりとしての地球環境問題への政策対応/地球公財としての政策対応/生命中心主義への政策対応

第13章 生物多様性・保護地域の新たな役割と期待

地球温暖化と生物多様性/生物多様性・保護地域と自然災害/聖なる山と巨樹の継承/国境を越えた国際平和公園/生物多様性保全の政策アプローチ/持続可能な開発と三つの共生

あとがき/参考・引用文献/索引

## 書評紹介

生物多様性の保全と利用をめぐる国際関係、また生物多様性保全を目的として設置された保護地域をめぐる国際関係と国内問題から、生物多様性に関する南北問題や国家政府と地域社会との対立について、さらに様々な立場の関係者による協働管理の変遷を踏まえ、今後の課題が論じられる。行政官としての経験によるものか、複雑な問題が順を追って整理される。ただし堅苦しいものになりがちで、このような話題のそれぞれにおいて、著者が直接に関わった経験が合わせて述べられ、著者が撮影した写真が随所に挿入されているため、親しみやすいものになっている。

(藤間剛氏(森林総合研究所)による図書紹介『海外の森林と林業 No.90』(2014年)より一部抜粋)

## 著者割引

一般書店・ネット書店での定価 3,024円(本体+税)のところ、著者割引価格 2,000円(本体+税+送料)にてお求めいただけます。著者割引でのご購入をご希望の方は、お名前、送付先住所を明記のうえ、著者(高橋)あてに直接メール、FAXまたは郵便でお申し込みください。出版社、書店では、著者割引は扱っておりません。

申し込み用メールアドレス [s-takahashi@kyoei.ac.jp](mailto:s-takahashi@kyoei.ac.jp) FAX 048-755-3198

郵送住所 〒344-0051 春日部市内牧 4 1 5 8 共栄大学教育学部 高橋進